

令和5年度 群馬県高等学校バレーボール選手権大会 兼 第76回全日本バレーボール高等学校選手権大会群馬県予選会要項

主催	群馬県バレーボール協会 産経新聞社・サンケイスポーツ	群馬県高等学校体育連盟 群馬テレビ・フジテレビジョン
後援	群馬県 群馬県教育委員会	上毛新聞社
主管	群馬県高体連バレーボール競技専門部	

1 開催日時

令和5年	10月21日(土)	一次ラウンド 受付	8:00	競技開始	9:00
	10月28日(土)	二次ラウンド 受付	8:00	競技開始	9:00
	10月29日(日)	三次ラウンド 受付	8:00	競技開始	9:00
	11月4日(土)	最終ラウンド 受付	8:45	競技開始	10:00

2 会場

21日(土)	群馬体育館・アイオーしんきん伊勢崎アリーナ
28日(土)	男・女 さわやか交流館・榛名体育館・新町防災アリーナ・市前橋・勢多農
29日(日)	
4日(土)	ALSOKぐんまアリーナ (男女決勝 特設)

3 競技規則

令和5年度(公財)日本バレーボール協会6人制競技規則による。
(但し、準決勝までは3セットマッチとし、決勝は5セットマッチとする。)

4 競技方法

トーナメント方式により行う。3位決定戦は行わない。
一次ラウンドは、全国高校総体県予選会の上位16チームを除いたチームで行う。
二次ラウンドは、全国高校総体県予選会の上位16チームと一次ラウンドを通過したチームで行う。
三次ラウンドは、二次ラウンドを通過した上位8チームで行う。
最終ラウンドは、三次ラウンドを通過した上位2チームで行う。

5 シード方法

シードチームは、全国高校総体県予選会の男子ベスト16、女子ベスト24までとし、ベスト8以上を特別シード、ベスト16および女子ベスト24を平場シードとする。抽選方法は、3、4位チームと5～8位チームをそれぞれ特別シード抽選し、ベスト16および女子ベスト24チームを平場シード抽選する。なお、合同チームおよび不参加、棄権の場合はシード権を剥奪され、そのシード抽選枠はオープン抽選枠とする。

6 引率・監督

- 引率責任者は、校長の認める当該校の職員とする。(但し公立学校については教員とする。) また、校長から引率を委嘱された「部活動指導員」(学校教育法施行規則第78条の2に示された者)も可とする。但し、「部活動指導員」に引率を委嘱する校長は、県高体連会長に事前に届け出ること。
- 監督は、校長が認める指導者とし、それが外部指導者の場合は傷害・賠償責任保険(スポーツ保険等)に必ず加入することを条件とする。
- 全日本高校選手権大会出場チーム監督は、(公財)日本体育協会公認スポーツ指導者制度に基づく公認バレーボールコーチ、公認バレーボール上級コーチ、公認バレーボール指導員、公認バレーボール上級指導員のいずれかを有する者であること。

7 参加資格

- 選手は、学校教育法第1条に規定する高等学校(中等教育学校後期課程を含む)に在籍する生徒であること。但し、休学中、留学中の生徒は除く。
- 令和5年度 群馬県高体連に加盟し、県高体連バレーボール競技専門部に有効に登録されたチーム及び選手であり、(公財)日本バレーボール協会登録規定により、高等学校男子・女子として有効に登録されている選手で構成されたチームであること。
- 年齢は平成16年(2004)4月2日以降に生まれた者とする。但し、出場は同一競技大会3回までとし、同一学年での出場は1回限りとする。
- チーム編成は、全日制課程、定時制課程、通信制課程の生徒による混成は認めない。
- 統廃合の対象になる学校については、当該校を含む合同チームによる大会参加を認める。
- 転校後6ヶ月未満の者は参加を認めない。(外国人留学生もこれに準じる。)但し、一家転住等やむを得ない場合は、県高体連会長の許可があればこの限りでない。
- 参加選手は、あらかじめ健康診断を受け、当該校長の承認を必要とする。
- 合同チームについては、単独校での参加努力をしたが実現できず部員数が6名に満たない2校で構成されたチームであること。(但し、3校以上については専門部にて協議)

8 チーム構成

- (1) 1校、男子・女子各1チームとする。
- (2) チームは監督1名、コーチ1名、マネージャー1名、選手18名の計21名以内とする。そして試合毎に選手14名以内をエントリーする。
- (3) コーチは、申請し許可された者であること。
- (4) マネージャーは、当該校の生徒または職員であること。

9 大会使用球

本大会は、(公財)日本バレーボール協会公認の人工皮革カラーボールを使用する。
(男子：モルテンV5M5000 女子：ミカサV300W)
本大会使用球は県高体連バレーボール競技専門部で準備する。

10 補助役員

参加チームでお互いに行う。

11 メンバー変更

申込書のメンバー変更(ベンチスタッフ・選手)は、試合当日の受付までとする。
受付までに変更手続きをすること。以後の変更は受け付けない。

12 棄権の取り扱い

連絡なく試合開始時間(前の試合終了後)を15分経過してもコートに集合しない場合は棄権とする。棄権チームが生じ、試合時間が繰り上がった場合も同じ扱いとする。事前に欠場することになった場合は、一次大会前日正午までに責任を持って競技部(伊勢崎高・鳥羽)と対戦相手校に必ず連絡をすること。

13 最終ラウンドについて

- (1) 女子決勝を先に行う。
- (2) 決勝戦のみコート中央に整列し、Vリーグ方式にて挨拶を行う。(紹介アナウンス有り)

14 組合せ会議

9月28日(木)午前10時から県立前橋東高校にて常任委員の責任抽選により決定する。

15 表彰

群馬県バレーボール協会より、男女優勝校、準優勝校、第3位校に表彰状を、高体連より、男女優勝校に優勝旗・表彰状・メダル、準優勝校、第3位校に表彰状を、フジテレビジョン・産経新聞社より、男女優勝校にトロフィー・メダルを、群馬県・群馬県教育委員会より男女優勝校に知事杯を授与する。

16 全日本高等学校選手権大会出場権

男子・女子優勝校を第76回全日本バレーボール高等学校選手権大会に推薦する。
令和6年1月4日(木)～1月8日(月) 東京都 東京体育館

17 参加申込方法

県高体連バレー専門部HPより大会申込書式をダウンロードし、9月14日(木)までに競技部伊勢崎高 鳥羽まで送信すること。m-toba@edu-g.gsn.ed.jp 大会参加料 5,000円

18 プログラム原稿

県高体連バレー専門部HPよりプログラム原稿書式をダウンロードし、9月14日(木)までに(有)榛輝 haruki@po.wind.ne.jp

19 その他

- (1) 引率責任者・顧問等、2人以上の参加が望ましい。(体調不良、怪我等への対応)
- (2) 監督・コーチ・マネージャーは規定のマークを左胸につけること。
- (3) トレーナーは登録証を持参すること
- (4) (公財)日本バレーボール協会チーム加入一覧表を受付時に提出すること。
- (5) コンポジションシート、ラインナップシートは群馬県高体連バレーボール競技専門部のホームページからダウンロードし大会当日持参して下さい。
- (6) ベンチスタッフの服装は、なるべく統一されたものが望ましい。
- (7) 監督は、記録席に最も近い位置に座る。しかし、一時的にベンチを離れてもよい。
- (8) リベロプレーヤーは、色の異なるユニホームを着用すること。
- (9) ショートソックス(くるぶしが見えるもの)は禁止する。
- (10) 引率責任者は、各会場の避難経路や非常口の確認等をお願いします。
- (11) 生徒の安全確保対策を考慮した試合設定で行います。
- (12) 高体連バレーボール競技専門部のホームページで各会場駐車場、新型コロナ感染防止対策に関わる観客の有無等の諸注意を確認し、関係者に連絡すること。
- (13) 新型コロナウィルスの対応については、原則、日本バレーボール協会のガイドラインや自治体の指針に従うこととし、その他、教育委員会や高体連事務局からの方針等があった際はそれに従うこと。